

国立研究開発法人

日本医療研究開発機構（AMED）委託事業

オーダーメイド医療の実現プログラム
東京大学医学部附属病院 病理部
ゲノム病理標準化センター

平成 27 年度

東京大学医学部附属病院 病理部

ゲノム病理標準化センター

第 4 回 病理標準化センター講習会 報告書

平成 28 (2016) 年 3 月

第4回 ゲノム病理標準化センター講習会報告書

東京大学医学部附属病院 病理部ゲノム病理標準化センターにおいて、「組織検体取扱の改善・標準化法の開発」の一環として、ゲノム研究等に資する質の高い病理組織検体の取扱いに関する高度専門知識を有する人材の育成を目的とした「第4回ゲノム病理標準化センター講習会」を平成28年3月12日（土）、13日（日）の2日間で開催した。

過去3回の講習会は、第1回講習会は「ゲノム病理標準化センター講習会」を行っていくための「実証講習会」として、2015年3月28日（土）、29日（日）の2日間、第1日目に座学講習、第2日目は実習講習を行い、日本病理学会の委託事業である「組織取扱い規定」を作成するために実証研究に関わっている施設の医師や技師、ゲノム研究の第一線の先生方など、のべ94名の方が参加した。第2回講習会は2015年8月7日（金）、8日（土）、9日（日）の3日間、JCOGの臨床研究グループの先生方を中心に、第1日目座学講習、2日目、3日目実習講習の構成で、3日間でのべ74名の医師および技師の方々にご参加いただいた。第3回講習会は、2015年12月6日（日）、座学による講義講習を企画し、既に技術的なノウハウに関しては精通している臨床検査技師をはじめ、技術系の先生方、バンキングを担当あるいは計画されている施設、部門の責任者の医師等を中心に参加していただき、さらにゲノム医療の実践というアウトカムを意識して、製薬会社や試薬メーカーの方々にも参加を呼びかけ、77名の方々の参加があった。

そして今回の第4回講習会では、日本病理学会へのAMEDよりの委託事業である「ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程」の製本版が完成し、ハンドアウトとともに、参加者全員に無償配布した。

主催者を代表して東京大学医学部附属病院 病院長 齊藤延人氏のご挨拶に始まり、AMED バイオバンク事業部 部長 加藤治氏より本プロジェクトの取組等についてのご挨拶・ご説明がなされた。続いて「ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程」を作成するための実証研究を受託している日本病理学会を代表して、日本病理学会 理事長 深山正久氏より病理学会での実証研究全般に関する取り組みと本講習会との関連等についてのご挨拶をいただいた。文部科学省からは、文部科学省研究振興局 高木聡氏もご参席いただいた。

講義では、「ゲノム医療実現に向けたオーダーメイド医療の実現プログラムの取り組みとBBJ病理組織バンキング」について、東京大学医科学研究所 所長 村上善則氏にご講演いただいた。

さらに「ヒト病理検体からのゲノム診断と研究」というテーマで、日本病理学会実証研究施設である、九州がんセンター統括診療部 病理診

断科田口健一氏より、「病理診断を妨げない検体採取法等」を主とした講演があり、次いで日本病理学会への委託事業である実証研究に関して、「ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程の解説」と題して、日本病理学会ゲノム病理組織取扱い規約委員会 委員長 慶應義塾大学医学部病理学教室 教授 国立がんセンター研究所 分子病理分野長 金井弥栄氏よりご講演いただいた。製本されたテキストの内容はこれまでの講習会よりもさらにブラッシュアップされたものであり、非常に充実したものであった。

2日目の13日(日)は午前9時から、東京大学医学部附属病院 中央診療棟 2-7階病理部の病理標準化センターでの実習を行った。実習内容は、実際に臓器を見て、触れてもらい、検体採取の適切な部位等を本物の臓器で確認してもらった実習、凍結組織の扱い、クリオスタットの体験、こちらで用意した検体を用いて基盤整備として導入したゲノム関連研究用機器を使用してのRIN値の測定や、DNA、RNAの抽出実験等を行った。聴講生は2日間でのべ65名、講習会の終了にあたり、聴講生には修了証書が授与された。また聴講生1人1人には「ゲノム病理標準化センター講習会ホームページ」で講習内容が復習可能なコンテンツの閲覧とeラーニング(履修後、修了証を発行)が受講できるように専用のID、パスワードを配布し受講を促した。なお聴講生全員にアンケートを実施したが、その詳細に関しては別添付資料を参照されたい。

(文責 東京大学医学部附属病院 病理部 佐々木毅)

*別添付資料：

1. 第4回ゲノム病理標準化センター講習会 プログラム
2. 第4回ゲノム病理標準化センター講習会 参加者一覧
3. 第4回ゲノム病理標準化センター アンケート結果報告